

HIRAOKA Kindergarten Presents

季刊

湘南自然誌

Vol.35

January 8th 2025

神奈川県・湘南
地域の自然を
再発見する

COVER STORY

Travelogue to The United States to look for Magicicada.

～アメリカで周期ゼミ2種、221年ぶりの同時大発生～
サイエンスライター伊地知英信氏に体験談を伺った



園児 自然 融合 中 生

四季

園児 地域 皆

投稿写真 季節毎 掲載

湘南発

生 図鑑

地域 自然 中遊 学

ひろおか幼稚園

県立愛川 村

吉田文雄 学委員

心育 幼児教育

遊 学生

知育

2024年10月～12月に、本誌発行元の平岡幼稚園の園便りに掲載されたコラムを改編してお届けします。

四季のコラム

湘

南地域で絶滅が危惧される タカネトンボ

緑色のメタリックボディが美しいタカネトンボ。神奈川県では近年の衰退が著しく、今や湘南地域や県東部ではその存続が危ぶまれる状況となっているようです。そんな湘南地域で最後に目撃された場所が平岡幼稚園で、過去3回（2010年、2017年、2019年）オスの飛来を確認しています。園での目撃例はいずれも10月上旬～中旬。もしかしたら今年は見られるかもしれないと思い、子どもたちと一緒に探しましたが、残念ながらその姿を確認することはできませんでした。

【補記】本種は、現在行われている神奈川県レッドデータ調査の対象種であるため、本園で得られた記録やレッドデータ調査の結果をまとめた報文を神奈川県昆虫談話会の機関紙「神奈川県昆虫報」に投稿しました。詳細は次号（本誌Vol.36）のアクションレポートにてご紹介いたします。

ている木もあれば、同じ種類でも色が異なる木があります。ケヤキは遺伝的な違いにより、赤色になるか黄色になるかが決まるようです。一方、カキの木は日当たりが良いと赤色、日陰では黄色になるそうです。

そもそも色の変化はどのように起きているのでしょうか。そのメカニズムは色によって異なり、クロロフィル（緑の色素）が分解されカロチノイド（黄色の色素）が残ると黄色へ変化し、クロロフィルが分解されてアントシアニン（赤色の色素）が形成されると赤色へ変化するのだそうです。様々な作用によって秋の彩りが形成されていると考えると面白いですね。

これから、秋が深まるにつれてどんどん紅葉が進んでいきます。子どもたちと一緒に紅葉の不思議を楽しんでいきたいと思っています。



1 / 2017年10月に園内で採集したタカネトンボ。メタリックグリーンに輝く美麗種だ。樹林に囲まれた薄暗い池沼を好むが、県内では低地や丘陵地を中心に環境が悪化し、数を減らしている。 2 / タカネトンボが飛来した園内の池。最後に目撃したのは2019年である。今年も残念ながらその姿を見ることは叶わなかった。



1 / 黄色に紅葉する平岡の森のケヤキ（左）と赤色に紅葉する園庭のケヤキ（右）。輝く落ち葉のスタンドグラス。 3 / メーブルの葉のような形をしたツタの葉を落ち葉の色や形から想像を膨らませて楽しむ園児。 4 / 柿の葉には水玉のようあって面白い。 5 / 同じように見える落ち葉も並べると美しいグラデーション。葉身と赤い葉柄のコントラストも魅力的だ。

10月

園

内でチュウゴク

アミガサハゴロモが見つかる

2017年に国内で初確認されて以降、全国各地でその姿が確認されているチュウゴクアミガサハゴロモ（写真1左）。一見、ガのように見えますが、カメモシ目ハゴロモ科（セミに近い仲間）です。和名にチュウゴクとつくように、中国から移入された外来種です。

神奈川県ではほとんど確認されていなかった2年前の秋、東京都町田市に生息していると知り、物珍しさに探しに行ったことがあります。しかし、その後県内各地で見られるようになり、先日とうとう平岡幼稚園園内でも見つかってしまいました。

本種は、元々国内に分布する在来のアミガサハゴロモ（写真1右）と姿がよく似ています。見分けポイントは、翅（はね）の外側にある白紋（写真1矢印）で、縁に沿って細長いことが特徴です。在来のアミガサハゴロモは自然が比較的豊かな環境で見られるのに対し、本種は街路樹や庭木など市街化した環境でも見られます。今後よく目にする昆虫になると思いますので、ぜひ覚えておいてください。

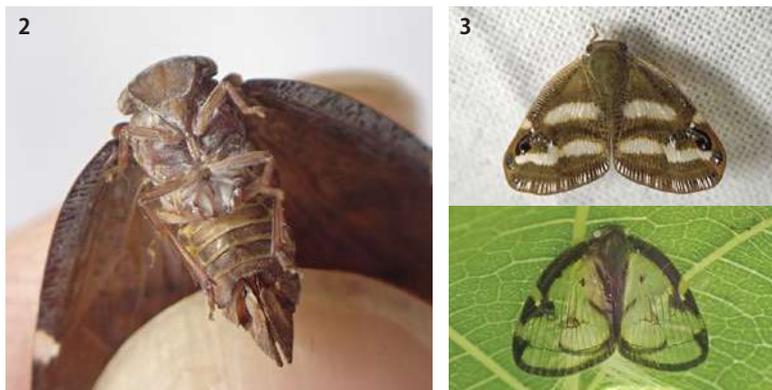
少

しずつ紅葉（こうよう）が

見られるようになってきました

園内の広葉樹の葉が少しずつ色付いてきました。子どもたちも色の変化に敏感に気が付き、秋の訪れを目で感じて楽しんでいきます。

紅葉を観察していると、黄色に変わる木と赤色に変わる木があることに気が付きます。イチヨウ・ムクノキ・エノキなどは黄色、イロハモミジ、ハナミズキ、サルスベリなどは赤色になります。このように種類によって変化する色が決まっ



この色の違いは遺伝的なものらしい。 2/陽の光を当てると綺麗に「カナダ」と呼んだり、虫食いの葉をハロウィンのお面に見立てたりと、な模様が見られることがある。菌類によるものらしいが、独特の味が楽しめる。 6/顔が隠れるくらい大きいアカメガシワの葉。黄色

1/外来種チュウゴクアミガサハゴロモ（左）と在来種アミガサハゴロモ（右）。よく似ているが翅（はね）の白い紋の形に注目すれば見分けは容易だ。 2/背面から見るとガのように見えるが、腹側を見ればセミに近いグループであることがわかる。 3/県内で見られるハゴロモ科の昆虫は、この他にベッコウハゴロモ（上）とスケバハゴロモ（下）がいる（全4種）。

11月

12月

Travelogue

周期ゼミ (Magicicada 属)

13年あるいは17年の発生周期を持ち、それぞれ13年ゼミ、17年ゼミと呼ばれる。体長は2〜3cmと非常に小さい。属名の Magicicada は、魔法を意味する magic にセミ cicada を接続したもの。周期が素数であることから「素数ゼミ」と呼ばれることも。アメリカ東部に分布する。



2024年、イリノイ州での13年ゼミと17年ゼミが、なんと221年ぶりに同時発生した。この一生に一度見れるか見れないかの現象を見物しようとアメリカへ渡った方がいる。サイエンスライターの伊地知英信氏だ。是非その時の様子を聞かせてもらいたいといんたビューを申し込んだ。

伊地知氏は、小学生のころからセミの羽化を徹夜で観察したりするほどの生きもの好きだったそうで、大学は水産学部へ進み、現在は数多くの自然科学書の編集やライティングを手掛けている。セミを見るためだけにアメリカへ行くなど普通の人は考えられない。さっと新たな本の取材のためなのだろうと思いきや、

「仕事のネタにするためというより、ただただ好奇心にうながされて渡航を決めました。何かの生きものが大発生するとか、そういった天変地異みたいなことがあるとついつい見に行きたくなってしまっんですよ。実は4月にも日蝕を見にアメリカに渡っています。日蝕を追いかけることにはまってしまったことを、「日蝕病」と言ったりするのですが、私もその病にかかってまして(笑)、ただかかか3分程度のために世界各地を飛び回ってるんです。」

仕事抜きの好奇心だけで海外へ飛んでしまおうとはすごい行動力だ。

伊地知氏がアメリカへ渡ったのは6月中旬。目的の地はイリノイ州の州都・スプリングフィールドだ。周期ゼミは場所によって発生年が違うため、ほぼ毎年アメリカのどこかでは見られるのだが、13年ゼミと17年ゼミの生息域が重なる場所は少ない。その中の一つがスプリングフィールドなのだ。

直行便がないため、一旦同じイリノイ州のシカゴ・オヘア国際空港へ向かう。到着後空港から外を見渡すと、早速施設の屋根の上にセミの死骸がちらはら転がっているのを見つけたそうだ。

「恐越してしたが生体も見つけました。現地ではさらにたくさん見られるに違いない……と期待に胸を膨らませて、スプリングフィールド行き便へ乗り継ぎました。」

to The United States to look for Magicicada.

～アメリカで周期ゼミ2種、221年ぶりの同時大発生～
サイエンスライター伊地知英信氏に体験談を伺った



1 周期ゼミを求めてアメリカへ

みなさんは「周期ゼミ」という言葉を聞いたことがあるだろうか？ 13年、あるいは17年というとても長い周期で発生するゼミの総称で、13と17が素数（1とその数字以外で約数をもたない自然数）であることから素数ゼミとも呼ばれる。分布域はアメリカ東部。最新の研究では、13年ゼミは4種類、17年ゼミは3種類いることが分かっている。多くのゼミは周期が決まっているのになぜ一定の周期になったのか？ どのように羽化する年を計っているのか？ など謎が多く、様々な研究者の注目を集めているゼミだ。



interviewee (話を聞いた人)

伊地知 英信 いぢちえいしん

東京生まれ。自然科学書や博物館展示物の編集者・ライター。自然観察のインタープリター。集英社版『完訳ファーブル昆虫記』10巻20冊（奥本大三郎訳／集英社／菊池寛賞）の編集と訳注の執筆。『めだかのぼうけん』（ポプラ社／写真・渡辺昌和）で教科書採用。『しもばしら』（写真・細島雅代）で第58回児童文化福祉賞。『不思議の虫ナナフシ』（写真／海野和男）、『外来生物は悪じゃない ミドリガメへの弁明』（草思社）など。



1 / 往路の経由地シカゴ・オヘア国際空港で乗り換えの際に見かけた周期ゼミの死体と生体。大きな期待を胸に抱いてスプリングフィールドへ向かう。 2 / シカゴより南部にあるスプリングフィールドでは、既に発生は終わっており、見つかるのは翅（はね）などの残骸ばかりであった。 3 / Holiday Inn Express & Suites Springfield, an IHG Hotel の駐車場で揚げたゼミの卵。周期ゼミとのコラボも空振りに終わった。 4 / アブラハム・リンカーン・キャピタル空港にあったリンカーン像。スプリングフィールドは第16代アメリカ合衆国大統領であるリンカーンゆかりの街だ。



した。周期ゼミとのコラボは空振りでしたね（笑）。
 スプリングフィールドでの3泊を消化した伊地知氏。経由地のシカゴで半日ほど長く滞留時間が取れるよう帰りの便を変更する。
 「シカゴの空港周辺を探索してみることにはなりました。空港の窓からまだ生きている周期ゼミが見えましたからね。ここまで来たら、何としても生体を手にしてみたいじゃないですか。」

Springfield, Illinois



2

スプリングフィールドに
到着したものの…

周期ゼミは仲間の鳴き声に集まる性質があるらしく、しかも一度に大量に発生する。なので、場所によっては電話の声も聞こえなくなるくらいの爆音になるそうだ。そんな大合唱を思い浮かべながらスプリングフィールドに到着した伊地知氏だったが…

「どうやら行くのが少し遅かったようです。発生はもう終わっていて、残念ながらバラバラになった周期ゼミの死骸しか見つかりませんでした。」

それでも、周期ゼミの翅（はね）に触れることができたのは感慨深かったそうだ。

「発生時の様子を聞いてみよう」とホテルの従業員に話しかけてみたのですが、うちのホテルは清潔だからこんなbug（バグ/虫）はいない」とか言われてしまうんです。アメリカの人は一部の虫好き以外ほとんどゼミには興味がないみたいですね。」

日本では、苦手な人も含めゼミのことは大概の人が知っているし、また、季節感とも密接に繋がっている。そんな日本の文化は意外と珍しいのかもしれない。

到着早々、周期ゼミの発生が終わっていることを知ることとなった伊地知氏。ホテルは3泊も予約済み。残りの日程をどのように過ごしたのだろうか？ この街はリンカーンが大統領になる前に過ごしたことで知られるが…

「州都と言ってももう本当に田舎町なのでリンカーン像くらいしか見るところがない。だったら他の生きものを観察してみようと思ったのですが、とにかく日中は外を歩いていられないくらい暑くて…大半は部屋で執筆の仕事をしたり、悶々と酒を飲んだりして過ごしました（笑）。ちなみに、本場の「アメリカザリガニ」を見ようとして少し探してみましたが見つかりませんでした。」

伊地知氏は、日本の風の会世話人も務めている趣味人で、今回の旅行のためにひとつ仕掛けを用意していた。

「日本から、アメリカ国旗付きの周期ゼミを模した凧を作ったのですが…ホテルの駐車場で寂しく揚げることになりました」



13年ゼミ *Magicada neotredecim*



脱皮殻

3

ついにシカゴで
“生きた”13年ゼミを手

“生きた”周期ゼミとの出会いを求め、シカゴでの滞留時間を伸ばした伊地知氏。到着後、空港を出るとすぐに思いを遂げることになる。

「タバコの吸い殻なんかに入れて歩いてたんですよ、13年ゼミが。ここへ来てついに生体を手にすることができました。感激して撮影していると、アメリカらしい巨漢の清掃員のおじさんが、‘そんなだったら向こうの植栽の方にもっといるよ’と教えてくれたんです。行ってみると、13年ゼミがぼつりぼつり木に集まっているところに出会うことができました。」

シカゴはスプリングフィールドより北に位置するため、発生がやや遅かったのだろう。大発生とは言い難かったものの、チーチーチーという13年ゼミの鳴き声も聞くことができたそうだ。

「粘った甲斐がありましたね。付近の芝生では、死体でしたが17年ゼミも採集できました。13年ゼミと17年ゼミの両方を同じ場所で“見た”ということで、スプリングフィールドでの悶々とした想いを少し晴らしましたよ（笑）。多くは死体でしたが、合わせて80個体は採集できましたし。ちなみに、せっかくなのでそのまま生で食べてみたのですが、後味がちょっと苦かったものの、エビセンのような味がしましたよ（笑）。」

ゼミ、特に幼虫はボイルすると意外と美味しいと聞か：現地では調理手段がなかったとはいえ、そのまま食べるにはすごい勇気である。



1/シカゴ・オヘア国際空港の広場の樹木で鳴く13年ゼミ。数は多くなかったが、なんとか生きている姿を観察することができた。2/マツスポラ菌に感染していると思われる腹部のない13年ゼミ。こんな姿になっても体は動いていた。脱落した部分に白っぽい粉の塊（胞子）がないので、末期の状態かもしれない。ちなみにこの菌は「宿主をゾンビ化させる」とも表現されるように、腹部が崩壊してもなお動き回るといふ。感染した個体は求愛行動に駆り立てられ、交尾相手に菌を広げることから、ゼミ界の性病とも言われるそうだ。（参考：NATIONAL GEOGRAPHIC 日本版 NEWS 2.May.2024）

4

そして帰国

〜好奇心が人を豊かにする〜

今回のアメリカ周期ゼミ体験旅行は、伊地知氏的には必ずしも大成功とは言えなかったであろう。しかし、周期ゼミの現物を手に取ることなどなかなかできるものではない。帰国後、採集したものを昆虫の愛好家に寄贈すると大変喜ばれたそうだ。

次の同時発生は221年後。さすがにこれは体験できないが、それでもまた周期ゼミを見に行ってみたいと言う。

「デイスニーランドのような人が作ったものはハズレのない面白さがありますが、自然現象はタイミング・運に左右されるところがありますよね？ 行ってみないと分からないことであるんですよ。その方が賭けの要素があって私は面白いと思っています。」

今回の小旅行でも驚かされた体験があったそうだ。「シカゴで、マッソスポラ菌と思われる菌類に寄生された13年ゼミを見つけたんですよ。なんと腹部がほとんどないのに動いているんです。このゼミは生きていると言っているのか悪いのか…まさにゾンビ状態。こんな人の想像を超えた世界に触れることに私はロマンを感じます。」

2時間ほどお話を伺ったが、旅行の様子を語る伊地知氏の活き活きとした姿が印象的だった。大人になると新しい物事への好奇心が薄れてしまうこともあるが、氏はきつと人知を超えた不思議に出会うことで、みずみずしい感性を保ち続けているのだろう。好奇心は人が心豊かに生きるための源泉なのだと感じさせられる取材であった。

周期ゼミの採集データは、伊地知英信著「周期ゼミを見にアメリカへ」(日本ゼミの会連絡誌「蟬の塔」第49号 pp.262-263)に掲載されています。



湘南発 みんなでつくる!

生きもの図鑑

2024年9月～11月 秋

平岡幼稚園の園児・教職員と、地域の皆さんからの投稿
写真を季節毎に掲載する、タイムリーな生きもの図鑑です。
【図鑑の見方 ① 場所・② 年月・③ 氏名】

どなたでも投稿できます

写真と「撮影年月日」「撮影場所」「発見者」
を添えて、下記にてお気軽にお送りください。
種名が分からなくてもOKです。

送付先

投稿用メール QR コード
ikimono@hiraoka-kg.com



過去の記録検索

みんなで作る生きもの図鑑 索引
湘南自然誌 PDF 版



コノシメトンボ♀

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2024年10月下旬 備考：—
- ③ 國井杏音

※ 対象地域は神奈川県です。
 ※ 期間外の写真を掲載することもあります。
 ※ この図鑑は編集部の責任で作成しています。誤りは判明次第訂正します。
 ※ 同定者名の記載のあるもの以外は編集部(堀田佳之介)が同定しており、
 性別や齢数は分かる範囲で付記しています。
 ※ 「県RDB」は、神奈川県レッドデータブック2006の略です。



オオアオイトトンボ♂

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年10月中旬 備考：—
- ③ 配島花弥



オオアオイトトンボ♂

- ① 平塚市北金目 同定：—
- ② 2024年11月上旬 備考：—
- ③ 石塚冬真



ハグロトンボ♂

- ① 平塚市南金目 同定：—
- ② 2024年9月下旬 備考：県RDB要注意種
- ③ 石塚冬真 (現在は普通に見られる)



アオモンイトトンボ♀

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2024年9月中旬 備考：♂型
- ③ 下田梨々美



オナガサナエ♂

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年9月上旬 備考：—
- ③ 伊藤瀬南



オニヤマ幼虫

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年10月上旬 備考：—
- ③ 門倉あん



オニヤマ幼虫

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年10月下旬 備考：—
- ③ 安澤楓斗



オニヤマ幼虫

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年10月下旬 備考：—
- ③ 駒村海志



オニヤマ幼虫

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年10月下旬 備考：—
- ③ 本間杜季



タカネトンボ♂

- ① 南足柄市広町 同定：—
- ② 2024年10月下旬 備考：県RDB要注意種
- ③ 角田はるひ



ナツアカネ♂

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2024年9月下旬 備考：県RDB要注意種
- ③ 中村いと



ナツアカネ♂

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年10月上旬 備考：県RDB要注意種
- ③ 吉田泰介



ナツアカネ♂

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年10月上旬 備考：県RDB要注意種
- ③ 荒川弥



ナツアカネ♀

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年10月上旬 備考：県RDB要注意種
- ③ 宮森鈴葉



ナツアカネ♂

- ① 寒川町宮山 同定：—
- ② 2024年10月中旬 備考：県RDB要注意種
- ③ 石塚冬真



ナツアカネ♀

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2024年10月下旬 備考：県RDB要注意種
- ③ 橋本真白



ナツアカネ♂

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2024年11月上旬 備考：県RDB要注意種
- ③ 岩本恵実



ナツアカネ♂

- ① 平塚市北金目 同定：—
- ② 2024年11月下旬 備考：県RDB要注意種
- ③ 松浦遥



アキアカネ♂

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2024年10月下旬 備考：—
- ③ 岩本恵実



アキアカネ♂

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2024年10月下旬 備考：—
- ③ 橋本颯馬



アキアカネ♂

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2024年10月下旬 備考：—
- ③ 荒川弥



アキアカネ♂

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2024年10月下旬 備考：—
- ③ 斎藤壮汰



アキアカネ♂

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2024年10月下旬 備考：—
- ③ 柴輝翔



アキアカネ♂

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2024年10月下旬 備考：—
- ③ 渋谷菜月



アキアカネ♂

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2024年10月下旬 備考：—
- ③ 小山田大桜



アキアカネ♂

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2024年10月下旬 備考：—
- ③ 小西碧



アキアカネ♂

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2024年10月下旬 備考：—
- ③ 杉山凛



アキアカネ♂

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2024年10月下旬 備考：—
- ③ 川口幹雲



アキアカネ♂

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2024年10月下旬 備考：—
- ③ 猪俣勇人



アキアカネ♀

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2024年10月下旬 備考：—
- ③ 大木瑛吉



アキアカネ♀

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2024年10月下旬 備考：—
- ③ 中津川結乃



アキアカネ♂

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2024年10月下旬 備考：—
- ③ 安次福戀



アキアカネ♂

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2024年10月下旬 備考：—
- ③ 伊東愛佳



アキアカネ♂

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2024年10月下旬 備考：—
- ③ 佐々木大我



アキアカネ♂

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2024年10月下旬 備考：—
- ③ 山添透椰



アキアカネ♂

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2024年10月下旬 備考：—
- ③ 小澤里奈



アキアカネ♂

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2024年10月下旬 備考：—
- ③ 青柳陸太



アキアカネ♂

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2024年10月下旬 備考：—
- ③ 石黒睦斗



アキアカネ♂

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2024年10月下旬 備考：—
- ③ 武田瑠華



アキアカネ♂

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2024年10月下旬 備考：—
- ③ 片沼遼也



アキアカネ♂

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2024年10月下旬 備考：—
- ③ 北野あかり



アキアカネ♂

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2024年10月下旬 備考：—
- ③ 落合美優菜



アキアカネ♀

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2024年10月下旬 備考：—
- ③ 伊藤瀬南



アキアカネ♀

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2024年10月下旬 備考：—
- ③ 秋山颯汰



アキアカネ♀

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2024年10月下旬 備考：—
- ③ 渡邊耕勇



アキアカネ♂

- ① 藤沢市辻堂西海岸 同定：—
- ② 2024年11月上旬 備考：—
- ③ 磯田千晃



アキアカネ♀

- ① 藤沢市辻堂西海岸 同定：—
- ② 2024年11月上旬 備考：—
- ③ 磯田結月



アキアカネ♂

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2024年11月上旬 備考：—
- ③ 伊藤みつは



アキアカネ♂

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2024年11月上旬 備考：—
- ③ 杉山萌



アキアカネ♂

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2024年11月上旬 備考：—
- ③ 石川瑛菜



アキアカネ♀

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2024年11月上旬 備考：—
- ③ 村田佑燈



アキアカネ♀

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2024年11月上旬 備考：—
- ③ 本間杜季



アキアカネ♂

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2024年11月上旬 備考：—
- ③ 中村心



コノシメトンボ♂

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2024年10月下旬 備考：—
- ③ 高野松菜



コノシメトンボ♂

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2024年10月下旬 備考：—
- ③ 佐藤瑛麻



コノシメトンボ♂

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2024年10月下旬 備考：—
- ③ 小山田大椋



コノシメトンボ♂

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2024年10月下旬 備考：—
- ③ 松下結人



コノシメトンボ♂

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2024年10月下旬 備考：—
- ③ 大木瑛吉



コノシメトンボ♂

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2024年10月下旬 備考：—
- ③ 渡邊巴南



コノシメトンボ♀

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2024年10月下旬 備考：—
- ③ 駒村海志



コノシメトンボ♂

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2024年10月下旬 備考：—
- ③ 河野結月



マクテアカネ♂

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2024年11月上旬 備考：県RDB要注意種
- ③ 伊藤瀬南



マクテアカネ♂

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2024年11月上旬 備考：県RDB要注意種
- ③ 橋本颯馬



マクテアカネ♂

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2024年11月上旬 備考：県RDB要注意種
- ③ 荒川弥



マクテアカネ♂

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2024年11月上旬 備考：県RDB要注意種
- ③ 佐藤颯々那



マクテアカネ♂

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2024年11月上旬 備考：県RDB要注意種
- ③ 中村心



マクテアカネ♀

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2024年11月上旬 備考：県RDB要注意種
- ③ 小山田大椋



ウスバキトンボ♀

- ① 平塚市片岡 同定：—
- ② 2024年9月上旬 備考：—
- ③ 石塚冬真



ウスバキトンボ♂

- ① 平塚市中原 同定：—
- ② 2024年9月下旬 備考：—
- ③ 佐藤瑛麻



ウスバキトンボ♂

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2024年10月下旬 備考：—
- ③ 駒村海志



ウスバキトンボ♂

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2024年10月下旬 備考：—
- ③ 秋山蒼依



ウスバキトンボ♂

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2024年10月下旬 備考：—
- ③ 村田佑燈



ウスバキトンボ♀

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2024年10月下旬 備考：—
- ③ 大木瑛吉



ウスバキトンボ♀

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2024年10月下旬 備考：—
- ③ 北村星空



シオカラトンボ♂

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2024年10月下旬 備考：—
- ③ 石塚冬真



オオシオカラトンボ♂

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年9月上旬 備考：—
- ③ 宮森鈴葉